

みなまた 市議会だより

第73号

平成29年7月15日

編集 みなまた市議会
だより編集委員会

発行 水俣市議会
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



県立芦北支援学校高等部佐敷分教室へ
福祉バスの運行が始まりました

6月定例会の報告

可決された補正予算・条例など

【平成29年度会計別補正予算】

(千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一般会計	61,574	14,666,790
国民健康保険	7,624	4,782,124
後期高齢者医療	11,181	400,060
水道事業（収益的支出）	▲5,381	408,420

《現行の条例改正》

●水俣市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令」が公布されたことで、消防団員等が公務中、事故で休業補償が発生した場合、公務災害補償の算定基礎額となる扶養親族加算額及び加算対象区分を改めたものです。

●水俣市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の改正等により水俣市税条例の一部改正するものです。

(1) 配偶者控除・配偶者特別控除の見直し

(2) グリーン化特例の延長

(3) わがまち特例の追加・廃止

●水俣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部改正に伴い、

保険税の減額賦課に係る算定方法を改めたものです。

●水俣市営住宅条例等の一部を改正する条例の制定について

田平団地の一部住宅の廃止に伴う除却により9棟を7棟に改めたものです。

陳 情

●陳第3号（継続審査）平成28年

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情について

●陳第3号（継続審査）

水俣市の光回線（インターネット回線）全面開通に向けた陳情について

●陳第4号（継続審査）

所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める陳情について

【平成28年度補正予算】

(千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一般会計	▲47,326	15,857,686

※年度末における地方債発行額の確定により補正するものです

補正予算の主なもの

○特別旅費

8 6 5 千円

水銀に関する水俣条約が8月に発効されるにあたり、スイス・ジュネーブにて行なわれる契約国の国際会議に市長と随行者が出席するための旅費です。

○競り舟購入費

3,318 千円

平成30年度の大会にF R P（強化プラスチック）製新艇を12艇間に合わせるため、当初予算10,887千円から増額するものです。

○保育所施設整備補助金

5,809 千円

市内6カ所の保育園・こども園の防犯対策として、カメラやフェンス等の設置や修繕に係る補助金です。

○水産基盤整備交付金（漁港漁場整備分）

1,111 千円

食害駆除（藻場保全）と海底耕運（海底のゴミを除去）を実施するための整備事業費です。

○保育補助者雇上強化事業補助金

8,860 千円

保育士の負担軽減及び離職防止策として、市内4園で新たに短時間勤務者（無資格者）を雇用するための補助金です。

○災害復旧費

22,375 千円

6月25日発生 of 梅雨前線豪雨による公共土木施設災害による測量設計及び災害応急復旧に係る業務委託料や工事請負費等です。

附帯決議

厚生文教常任委員会において、補正予算の一部に関して当委員会から執行部へ質疑を行う中で、不明瞭な点が散見されたため、議案の採決にあたり全会一致で、委員会の要望として附帯決議を添えました。（抜粋）

平成29年度水俣市一般会計補正予算（第1号）に対する附帯決議

○競り舟のF R P（強化プラスチック）製船体構造等の購入における増額補正について

市が保有する木造艇の老朽化対策として、平成29年度当初予算においてF R P製の艇を12艇購入するため、10,887千円が計上され、承認された。

その後、わずか3カ月程の期間で追加費用として3,318千円が計上されるに至った主要因として、市担当者の事務手続きに関する認識不足と地元事業者への確認作業が不十分であったことから、納期の確定及び見積り費用の積算に関する不十分な事務処理が明らかとなった。また、窓口となっていた水俣市競り舟協会においても、地元事業者への確認等が不足していたこと及び市と当協会間の連絡調整が不十分であったことが原因と判断された。

その結果、平成30年度の競り舟大会に間に合わせるためには、市外事業者が発注する可能性が高くなり、一般財源からの追加費用を確保することになれば、市民の負担増を招くことになる。しかしながら、水俣市の伝統行事の運営に支障を来すことがないように、また競技の安全確保の必要性に鑑みて事業執行にあたっては以下の事項を付することで、委員会としても認めることとする。

- 1 本件については、今後、増額の補正は安易に行わないこと。
- 2 予算計上に際しては、担当者は事業を遂行するにあたり積極的な情報収集を行い、対象物件の仕様、積算根拠、工期等について理解して取り組むこと。
- 3 事業者と打ち合わせ等を行う際は、担当者自らが現場へ赴く等、行政としての説明責任を果たすとともに、相手方へも十分な配慮を行うこと。
- 4 公文書については、規定に基づいた管理を行うこと。人事異動等における事務引継ぎにおいても、支障がないようにしておき、事業を円滑に推進すること。
- 5 本件が服務規程に違反がなかったかを速やかに調査し、議会へ報告すること。
- 6 管理監督の責にある者は本件を重く受け止め、日頃から業務の進捗状況を把握すること。また、再発の防止策として、課内だけでなく全庁的に情報共有をはかるとともに、担当者等へ事務処理の指導管理の徹底をはかること。

議会における一部の委員会で改選がありました

常任委員会

委員会名	所管事項	正副委員長	委 員		
総務産業 定数8人	総務部、総合政策部、産業建設部、農業委員会、会計課、選挙管理委員会、監査事務局、議会事務局、水道局の所管事項に関する事	(委員長) 田口 憲雄	福田 斉	塩崎 達朗	谷口 明弘
		(副委員長) 藤本 寿子	桑原 一知	高岡 朱美	谷口 眞次
厚生文教 定員8人	福祉環境部、教育委員会、総合医療センターの所管事項に関する事	(委員長) 牧下 恭之	小路 貴紀	松本 和幸	岩阪 雅文
		(副委員長) 田中 睦	高岡 利治	中村 幸治	野中 重男

議会運営委員会

所管事項	正副委員長	委 員	
議会運営、議会の会議規則・委員会条例等、議長の諮問に関する事	(委員長) 野中 重男	桑原 一知	田中 睦
	(副委員長) 岩阪 雅文	田口 憲雄	高岡 利治

農業委員会委員の任命について

【農業委員会制度の改正】

- ・平成28年4月1日施行の法改正により、農業委員会委員の公選制が廃止され、市長による選任制（議会の同意を得て任命）に移行となりました。

【農業委員候補者の公募・選考】

- ・平成29年2月3日から3月2日の期間で公募を行い、定数14名に対し、31名の応募がありました。
- ・候補者評価委員会を設置し、各地域性のバランスや総合的な評価をもとに、評価委員の合議により選定されました。

○結果、以下の14名に対して、議会は同意しました。

任期：平成29年7月20日～平成32年7月19日（3年間）

区 域	氏 名	年 齢	住 所	備 考	区 域	氏 名	年 齢	住 所	備 考
市街地 (1～8区、 19～22区)	松田時義	73	古 城	－	湯出・長崎 (15・16区)	戸次治夫	61	湯 出	－
	坂本隆司	64	丸島町	認定農業者 に準ずる者		友田勝久	38	江 添	認定農業者
	苗床勝美	69	大園町	認定農業者	東 部 (9～14区)	森口信二	71	深 川	－
	廣島康雄	63	古賀町	利害関係を 有しない者		池田郁雄	72	宝川内	認定農業者
袋・月浦 (17・18区)	田畑和雄	63	袋	認定農業者	久木野 (23～26区)	松本公昭	65	葛 渡	－
	元村善二	70	袋	認定農業者		中村清治	62	大 川	認定農業者 に準ずる者
	田上哲人	67	月浦	－		山澤親徳	71	越小場	認定農業者

※認定農業者とは：農業経営の改善を図るための計画を市に提出し、それを認められた者。

- ・本市の農業委員会委員を任命するにあたり、農業委員会等に関する法律及び施行規則の規定により、本委員会の過半数を認定農業者等またはそれに準ずる者とするために、議会は同意しました。
(認定農業者6名、準ずる者2名)
- ・農地利用最適化推進委員（定数14名）については別途、候補者評価委員会での選考の後、農業委員会が委嘱します。

常任委員会の報告

*各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

厚生文教

専決処分の報告及び承認 1 件、補正予算 3 件、陳情 1 件（継続審査分）

●平成29年度水俣市一般会計補正予算第 1 号中付託分について

質疑－保育補助者雇上強化事業補助金の使途を検証する方法は

答弁－給与明細等の個々の添付書類を確認する中で、事業の進捗や保育士等の給与改善等の状況についても把握する。

質疑－学校からクリーンセンターへのごみ持ち込みに対して、どのような指導をしたのか

答弁－学校にごみ分別の徹底を文書でお願いした。

質疑－第二中学校で、生徒が使ったマスクやティッシュ等のごみを自宅に持ち帰っているようだが

答弁－教室のごみ箱でマスク等が資源ごみと混在していた。それを分別している委員会の生徒の状況が衛生面から好ましくないと判断し、このような状況となった。

質疑－今回、競り舟購入費の3,318千円の補正予算が計上されている原因は何か

答弁－当初予算に船体製作の基礎となる木枠の作成費及びその工程が納期に反映されていなかった。これは、担当者の事務手続きの認識不足及び作業工程等の事業者への確認作業が十分でなかったことに原因があった。併せて、窓口となっていた水俣市競り舟協会でも、事業者への事前確認等の不足や、市と競り舟協会との間の連絡調整が不十分であったことも原因であった。

質疑－市外業者へ発注を検討している理由は

答弁－市内業者への発注を検討していたが、対応困難との申し出があった。

質疑－今後のスケジュールは

答弁－入札等の契約事務の諸手続後、8月契約でも来年3月までの納品が可能である。

質疑－今回の補正で十分対応は可能か

答弁－金額的には予算の範囲内で十分対応できる。

質疑－今後の再発防止策は

答弁－公文書の管理規程に基づき、適正に行い、事業を円滑に遂行し、管理監督の責にある者は、日頃から業務の進捗状況を把握し、担当者等への事務処理の指導管理徹底を図る必要がある。

◇本議案において附帯決議を付する

競り舟購入費の増額補正については、本市の厳しい財政状況に鑑み、今後の増額補正は安易に行わないこと、本件が服務規程に違反がなかったかを議会へ報告すること等を条件に、全会一致で附帯決議を付すことで、この補正予算を原案のとおり可決すべきものと決定した。

総務産業

専決処分及び承認 4 件、条例の一部改正 1 件、補正予算 3 件、その他の議決事件 1 件、陳情 2 件

●専決処分 水俣市税条例の一部を改正する条例の制定について

質疑－固定資産税のわがまち特例の対象資産「ノンフロン製品である冷蔵機器及び冷媒機器で、自然冷媒を利用したもの」については廃止されるのか

答弁－全国的に適用例が少なく、地方税法において廃止されたため、市においても廃止するものである。

●専決処分 平成28年度水俣市一般会計補正予算第11号中付託分

質疑－昨年度に予定されていた袋地区の防火水槽設置工事について、補助対象とならず設置できなかったが、今後設置の計画は

答弁－今年度すでに国庫補助がついており、設置を予定している。

質疑－合併浄化槽の設置数が、当初予定70基から52基になった理由は

答弁－高齢化や工事の自己負担が大きいことが考えられる。

●議第33号 平成29年度水俣市一般会計補正予算第 1 号中付託分について

質疑－いきいき商店街づくり事業等支援補助金の申請があった2件の開店場所と業種は

答弁－ともに初恋通り商店会に開店され、1件は婦人服販売、もう1件は飲食業である。

質疑－昨年度作成した水俣堂々の冊子の配付先と配付による問い合わせはあっているか

答弁－旅行会社やマスコミを中心に配付する。現在配付中であり、現時点では配付先からの問い合わせはない。

●議第37号 工事請負契約の変更について

主に戸別受信機用アンテナ等の設置数等の確定に伴う契約額の変更

質疑－戸別受信機用のアンテナであるダイポールアンテナの設置数が当初予定の2,100台から809台になった理由は何か

答弁－設置の際に電波の受信状況が安定しており、必要な設置箇所が少なかったためである。

●議第38号 平成29年度 水俣市一般会計補正予算第 2 号について

質疑－路側法面の決壊により通行止めしている湯の児海岸線の和田岬公園と明水園の間の現場について、その周知と工事の完了時期は

答弁－水天荘に登る地点から迂回路を作り、明水園と斉藤旅館には通り抜けできる旨を表示している。完了は国の災害査定などを受ける必要があり、3月か4月の見込みである。

あなたの声を市政に

紙面から動画にリンク

各議員の写真の下の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料はご自分の負担となります。

●田口 憲雄

1. 地域教育戦略
 - (1) 水俣高校への支援
 - (2) 小中一貫教育について
2. 地域医療
 - (1) 医療センターの状況
 - (2) 看護人材の確保
3. 産業支援
 - (1) 土地確保
 - (2) 人材確保

●塩崎 達朗

1. 水俣市の経済活性化
2. 水俣市の防災
3. 観光振興
4. 市内の小中学校について

●田中 睦

1. 観光振興策について
2. 小学校運動部活動の社会体育への移行について
3. 教職員の勤務実態と労務管理

●野中 重男

1. 水俣病について
2. 水俣市職員の時間外労働とサービス残業
3. 厚生労働省が各県につくらせた地域医療構想と水俣市立総合医療センターの新改革プラン（新公立病院改革プラン）

●高岡 朱美

1. 国民健康保険都道府県単位化について
2. 新電力供給実証試験と、さらなる地域資源の活用
3. 発達障害者支援法改正と本市の取り組み

●牧下 恭之

1. 子どもの貧困対策と学校給食無償化
2. 教員の「働き方改革」と教職員の異動について

●藤本 寿子

1. 水俣の農業振興
2. 脱原発、CO₂削減を指針に電力の地産地消を推進する政策
3. 小・中学校等で実施されているフッ化物洗口について
4. グリーンスポーツみなまたの今後



田口 憲雄 議員
(政進クラブ)



地域間競争を 勝ち抜くために

地域教育戦略

問 水俣高校への支援についての考えは

答 市としては教育の充実という視点からの支援を重視している。その他の支援についても、手法、財源も含めて検討したい。

問 袋地区で取り組む小中一貫教育のメリットは何か

答 学校生活への積極性が増すこと、地域ネットワークの充実、心豊かな児童生徒の育成、特色ある学校づくりを通じた地域の活性化が期待される。

地域医療

問 今後、どのように進めていくのか

答 本年度から実施する事業の研究成果と課題を検証し、検討していきたい。

問 「地域医療構想」で、地域の急性期病院として維持・存続をどう考えているか

答 急性期病床が減少していくと、現在の医師数が確保できなくなり、24時間の救急医療体制も維持できなくなる。病床数を確保し、地域の急性期病院として、将来にわたって維持・存続していかねばならない。

問 「新公立病院改革プラン」の内容はどのようなものか

答 回復期機能を持った病棟や、将来必要とされる高度急性期病床の導入、後発薬品の推進による経費削減の取り組み、くまもとメディカルネットワークの活用等を掲げている。

問 看護人材の確保についてどのように考えているか

答 水俣芦北地区の人口から見た看護師数は全国平均を上回っているが、病床数に対しては下回っている。医療センターでは必要な看護師数は確保しているが、産休や育児休業等の増加により夜勤が可能な看護師が少ないなか、病棟への配置に苦労している。再任用職員の効果的な配置など、地域住民に求められる医療機能の維持に必要な看護師を確保していきたい。

産業支援と若者支援

問 企業の立地場所をどう考えるのか

答 水俣インターチェンジ開通による交通アクセスの利便性というメリットを生かす上でも、企業誘致に係る適地の調査、検討を行いたい。

問 産業用地の確保はどれ程の面積を、いつまでに確保するのか、数値目標を決めるべきと思うが、いかがか

答 企業誘致に活用できる土地や建物等の調査、検討を行いたい。その上で、本市に合った目標等を検討し、企業誘致に取り組む。

問 水俣高校の新卒者を採用しやすくするような制度や、若者を育てる制度を考えることはできないか

答 広報みなまたで、地元で働く若者の姿を伝える企画を実施している。高校生を中心とした若い世代に、地元で働く魅力を伝えていくとともに、若者を育てる制度についても考えていきたい。





塩崎 達朗 議員
(真志会)



経済活性化のために 企業誘致は必要不可欠

経済活性化 について

問 地域経済活性化のために、交流人口の拡大も重要であるが、雇用創出が期待される市外からの企業誘致活動として、どのような取り組みをしているか

答 企業誘致活動として、様々な支援制度を整備しているが、企業誘致に係る事業用地が不足し、十分な誘致活動ができていない。今後は企業誘致に係る適地の調査検討を行う。

水俣市の防災について

問 高齢化が進む水俣市の防災対策について、今後どのように考えているか

答 高齢者自身が日頃から防災準備を整え、災害発生時に適切かつ迅速に避難できるように、避難場所や避難経路を決めて、家族や地域住民が支援し助け合える環境の整備が大切であると考えている。

問 地域防災マネージャー制度の進捗状況と今後の予定は

答 自衛隊熊本地方協力本部から紹介された方の面接を予定している。

問 戸別受信機の設置率はどれくらいか。また今後の活用方法は

答 対象世帯数は、10,522世帯あり、設置済み世帯数は、7,090世帯で、設置率は67・4%である。今後も防災情報等の伝達に必要なものに活用していきたいと考えている。



観光振興 について

問 湯の児海岸線の整備事業の進捗状況は。また、桜並木の整備は考えていないか

答 今年度の整備は、主に和田岬公園から明水園までの約300mを予定している。車両用防護柵は本年度中に整備完了の予定である。桜並木の整備は、若木へ植え替える作業を行っている。

問 湯の鶴温泉街に設置した足湯の利用状況と、今の所に設置した



理由は何か。また、お湯がぬるく冬場の利用は厳しいと思うがいかがか

答 無料で利用可能であり、利用者は把握できていない。土地は無償提供があった。お湯の温度に関しては、温度を上げる機器を設置していないため、対応に苦慮している。

問 市民競り舟大会を観光事業と位置づけてはどうか。また、新船建造の進捗状況は

答 全庁的、全市的な議論が必要である。新船での大会は、来年度より実施できるよう進めている。

学校のエアコン 設置について

問 エアコン設置について検討したか

答 検討はしたが、財源の確保が難しく予算計上はできなかった。



教職員の勤務実態

西回り自動車道水俣―C開通を好機と捉えた施策は何か

観光客増の施策を

陸と海からのアクセスを考慮して、道の駅と海の駅の機能を持つ施設を整備し、観光振興と地域活性化を図る。

【問】新幹線全線開通時の事業とその後の効果はどうだったか

● 観光入込客数は、平成21年には約35万人に半減した。新幹線全線開通に向けて、江口

働きやすい環境づくりのためにもストレス

チエツクの活用を

答 本年度は市が主体となつて実施する。各学校の結果が把握できるので、実態に応じた指導が可能となる。



寿史さんの原画による
ポスターやパンフレッ
ト、絵葉書で観光PR
を行ってきた。また、
まつぼっくり周辺が道
の駅に登録され、観光
客増加につながった。

小学校部活動の社会体育移行

【問】 昨年10月に実施したアンケートから分かったことは何か

（答） 校長からは、移行にあたってはいつから移行を始めるかの期限を示すことや、各部ごとではなく市内で一斉に取り組むことを求める声が多かった。保護者からは、活動場所への送迎や経済的負担が出てくることには反対との声があった。

昨年度の観光客数は約52万人で、目標を上回っている。

湯の児海水浴場の
PRを積極的に

〔答〕 昨年は約1万人が訪れている。出水、伊佐からも多数の利用客があった。今後もPRして利用客増加につなげたい。

④ 動きが遅いのではないか。もっとスピードアップして取り組む必要があるのでは

答 若干遅れ気味と自覚している。平成31年4月までには実施できるよう、スピード感を持って進めていきたい。

④ 検討委員会の中の作業部会の役割は何か

⑤ 種目協会へのヒヤリング等の集計や分析を行い、検討委員会での基本方針を検討するための資料作りを行うってもらう。





野中 重男 議員
(日本共産党)



政府のベッド削減政策と 医療センターの方針

地域医療構想 とはなにか

【問】厚生労働省は各県に地域医療構想をつくらせた。国と県のベッド削減などの計画はどのようなものか

【答】国の構想は、団塊世代が75才以上を迎える2025年ごろの医療ニーズの変化に応じた施策と言っている。内容はベッドの削減である。水俣芦北圏で約750床を減らす計画である。県は3通りの計画をつくっているが、やはり39%減、9%減などの計画である。

【問】構想の問題点は何

【答】この構想は県単位でつくられている。北薩圏などからの流入患者が多く、それらを考慮した計画になっていない。そして、厚労省がつくった算定式に機械的にあてはめてベッド数が出されているが、その通りなら医師が確保できず、この地域の救急医療体制は維持で

きない。今後は芦北構想区域医療調整会議でこの地域での必要な病床数や医療機能について協議していくが、小児科、産婦人科、救急医療などは、若者がこの地域で子どもを産み育てていける条件をつくるものであり、関係機関に訴えていく。



【問】医療センターは新しいプランをつくっている。それはどのようなものか

【答】現在のベッド数は維持した上で、県の構想に基づき3つの取り組みをする。1つ目に、院内に高度急性期機能を持つベッドと回復機能をもつベッドをつく

る。2つ目は経営効率化をさらに図っていく。薬品、診療材料、経費など点検し見直していく。3つ目に、県医師会のメデイカルネットワークを活用し医療調整会議で協議し、北薩圏など圏域を越えた連携を推進し、地域医療を支えたい。

水俣病の健康調査

「早期実現もとめる」

【問】環境省は水俣病被害者の救済対象地域を決めたが、救済された人の16・5%の人が対象地域外であった。年齢的には昭和44年12月以降に生まれた人は対象外としているが、4人が救済されている。環境省は自ら、救済対象範囲外にも被害者がいることを認めたことになる。この際、住民の被害の実態を把握す

るために健康調査をするのは当然である。水俣病特別措置法は37条で疫学調査をすることをうたっている。実施すべきと思うがどうか

【答】水俣病の早期解決と市民の健康不安解消のため、できるだけ早く実現していただくよう国にお願いしたい。



高岡 朱美 議員
(日本共産党)



国保料負担、もう限界 広域化後も据え置きに努力を

国民健康保険 都道府県 単一化につ いて

【問】 国保の目的は

【答】 社会保障として国民保健の向上に寄与する、他の医療保険に入れないすべての人に医療を提供することだ。

【問】 来年度から国保の保険者が熊本県に移行するが、保険料が上がる予定はないか

【答】 現時点では判明していない。もし上がったとしても基金を取り崩すなどで初年度の保険料は据え置く考えだが、将来的には税率改正もありうる。



【問】 国保被保険者の8割が所得200万円以下という現状だ。非正規の労働者を大量につくった責任は国にある。国に公費投入を主張するとともに、市としても保険料据え置きに最大限努力すべきと考えるがいかがか

【答】 そのように主張していきたい。市としても適正な負担、健全な制度維持を計りたい。

市民にメリツ トの多い 新電力供給を

【問】 JFEエンジニアリング㈱とJNC㈱が供給する再生可能エネルギーを庁舎に供給する実験が始まった。新会社設立にあたっては、個人の太陽光パネルからの供給や市民も出資できるなど市民にメリツトがもたらされる仕組みは考えられないか

【答】 今年度は実証実験によって供給の安定性、CO₂や経費の削減効果を検証する。新会社については相手企業の意向もあり、時間をかけて検討していきたい。

【問】 畜産バイオガス利用計画ができているが実現の見込みは

【答】 先進地を視察し、実現に向けた支援を押しすすめたい考えだ。

【問】 近年、身の回りの資源をエネルギーとして利用する研究が進んでいる。分散型エネルギーは地域に多くの雇用を生むという。さらに押し進めるために、市民や地元企業がこのことについて学べる機会を提供できないか

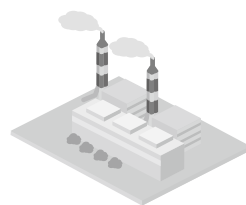
発達障がい者が安心して学べる 学校、社会づくりを

【問】 発達障害、またはその疑いで支援を受けている児童の数、対応している教員数は

【答】 164人の児童がいる。これに対し、特別支援教室が22学級、通級1学級ある。

【問】 専門性、個性に対応できる体制を県に求める必要があるのでは。また、障害者の困りごとをすぐ横にいる人が察知できる社会づくりのために、市民への啓発活動にも力を入れるべきと思うが、いかがか

【答】 学校への支援体制は必要を感じている。強く求めている。市民向けには広報誌への掲載、パンフレットの設置など行い、啓発に努める。



【答】 まずは計画中の事業の実現に力を入れ、必要が出てきた時に検討したい。



牧下 恭之 議員
(公明党)



学校給食の無償化を

学校給食無償化について

【問】 学校給食の必要性和、子どもたちに与える影響は

【答】 栄養格差を縮め、食習慣を身に付け、人間関係を育て地域を理解し、自然の恵みや勤労の大切さを育むことが期待できる。

【問】 学校給食の無償化についての取り組みは

【答】 市で約1億円の負担が必要となり、無償化は考えていない。

【問】 現在6人に1人の割合で相対的貧困の状況にあり、文部科学省は、学校給食の無償化に関する全国調査を今

年度、初めて行う方針を明らかにした。

学校給食の無償化は、4月21日現在、58自治体が小中学校で、3自治体が小学校で、362自治体が一部補助を実施している。

その上で、なぜ無償化が議論されているのか。

理由の一つとして、子どもの貧困がある。

全国の給食費の平均は小学校で月額約4,300円、中学校で約4,900円である。

低所得家庭ほど負担感は重く、文科省の調査では給食費未払いの原因の約3割は保護者の経済的な理由となっている。

こうした観点から、保護者の所得にかかわらず給食費無償化の必要性が議論されるようになった。

子育て世帯にとって最大の負担は教育費で

ある。国も動き出した。給食費無償化を国の制度としていくためにも自治体の広がりが必要だ。

教育費の負担を減らし、子育て支援、経済対策として給食無償化

を検討する時期が来ていると思うが

【答】 給食費無償化は、国の援助なくしては、一自治体だけでは、到底実現できない。今後、国の動向を見据えていきたいと考えている。



教員の「働き方改革」について

【問】 文部科学省が公表した小中学校教員の勤務実態調査結果は

【答】 事務処理業務時間、土日部活動により超過

勤務が見られる。

【問】 多くの教員が過重労働に陥っている。部活動指導員制度に取り組んでは

【答】 先進自治体の情報を収集し、方向性を検討したい。





藤本 寿子 議員
(無限21)



農業就労者の促進、 休耕地活用は進んでいるか

水俣の農業振興

- 【問】水俣の農業就労者の動向はいかがか
 【答】農業就労者は、平成22年は、1,134人であったのが880人になった。
 【問】県外も含め、定年退職者への農業就労促進は考えられないか
 【答】促進したいと思う。
 【問】休耕地の活用は進んでいるか
 【答】様々な取り組みがあるが、全体的にみるとごく一部である。
 【問】休耕地活用のため「ふれあい農園」を増やすことは出来ないか
 【答】今のところは考えていない。



ふれあい農園

- 【問】他市に学びアスパラ等高収入につながる品種の取り組みは、考えられないか
 【答】積極的に考える。

小中学校で実施されている フッ化物洗口

- 【問】教職員に行われたアンケートの結果は
 【答】担任、職員の負担が多い。手間がかかる。効果があつたかという問いには「なし」と「わからない」の回答をあわせると全体の7割であつた。
 【問】洗口液ミラノールの添付書を保護者に配布するという要望はどのようになっているか
 【答】添付文書の一部の表記についての補足説明と記載した文書を添

脱原発、CO₂削減を指針に電力の 地産地消を推進する政策

- 【問】実証実験から地域電力を立ち上げる場合、市民の参加、市民の出資なども考えては
 【答】まだ、始まったばかりである。今後、検討していく。

える形で配布する。



グリーンス ポーツの今後 について

- 【問】管理の状況は
 【答】管理棟付近等の巡回、及びトイレ清掃業務はサンビレッジみなまたスポーツクラブに委託、また年に2回程度草刈り業務を委託、茂道しおさい会に駐車場敷地内の草刈りを委託。
 【問】指定管理者の管理時と現在を比較し、利用者に変化があつたか
 【答】キャンプ場だけで言う和管理時までの直近3年間と平成26年度から28年度までの平均利用者は、1/3ほどに

なっている。

- 【問】指定管理者を置かなくなった理由が、費用対効果ということであつたが、グリーンスポーツは、費用対効果だけで考える施設か
 【答】そうではないと思つている。

- 【問】水俣市民からの要望、九州大学等研究者からの要望も根強く行われている。更に、九州森林管理局から「森林とのふれあいの場」として指定されている。今後、再び管理者を置くよう検討して欲しい
 【答】どのようにしたいければ良いか検討する。



議会の主な動き

(H29.4.1～6.30)

- 4月10日 春の交通安全運動啓発活動
- 5月1日 水俣病犠牲者慰霊式
- 5月19日 議会運営委員会
各派代表者会議
庁舎建替等対策特別委員会
- 6月1日 庁舎建替等対策特別委員会
- 6月2日 議会運営委員会
各派代表者会議
市本庁舎建替検討委員会
- 6月9日 平成29年第3回水俣市議会定例会開会
議会運営委員会
各派代表者会議
- 6月20日～22日 一般質問
- 6月23日 厚生文教委員会・総務産業委員会
- 6月26日 厚生文教委員会
全員協議会
- 6月29日 平成29年第3回水俣市議会定例会閉会

他自治体からの視察

(H29.4.1～6.30)

- 4月18日 ○静岡県長泉町議会
ごみ減量、ゼロ・ウェイストのまち
づくりについて
- 4月27日 ○石川県羽咋郡市広域圏事務組合議会
ごみの減量及び環境への取り組みに
ついて
- 5月11日 ○長野県千曲市議会
日本一の読書のまちづくりについて
- 5月12日 ○新潟県新潟市議会
水俣病資料館見学
- 5月24日 ○長野県須坂市議会
日本一の読書のまちづくりについて
- 5月25日 ○兵庫県赤穂市議会
環境モデル都市づくりについて
産廃処分場の反対運動について
水俣病資料館見学

＜本号の表紙写真＞

市は、センコーグループの創業100周年記念として贈られた寄附金500万円を活用し、県立芦北支援学校高等部佐敷分教室に通う生徒を送迎するためのバスを購入しました。

このバスは水俣市福祉バスとして6月19日から運行を開始しました。利用される生徒、ご家族に愛される福祉バスになるよう期待しています。



市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧いただけます！

水俣市 議会

検索

インターネット中継、会議録検索で不明な点は市議会事務局（TEL61-1661）までお問い合わせください

編集後記

いよいよ本格的な梅雨の到来です。最近の雨は一度に、大量に降る傾向にあります。天候の変化に十分気を付けたいものです。

市役所仮庁舎での業務も半年が過ぎ、利便性の向上に向けて少しずつ手が加えられています。何かと不便な点はいなくありません。お気づきの点は担当課にぜひお知らせください。これから夏を控え、市民参加の龍祭や競り舟大会など色々な行事があります。

市議会もますますの活性化を願い、市民の皆さんと共に、知恵を出し合い、ふるさと水俣を盛り上げていきたいと思っています。

さて編集委員の任期は1年、今回は交代の時期でした。2名が交代し、6名が留任しました。

委員会一同、力を合わせ、この議会だよりが、より市民の皆様によりやすくなり、読みやすいものになるよう努めてまいります。

編集委員（委員は50音順）

委員長 岩阪 雅文
副委員長 藤本 寿子
委員 桑原 一知
委員 小路 貴紀
委員 塩崎 達朗
委員 高岡 朱美
委員 田中 睦
委員 中村 幸治
委員 上田 純

議会事務局員

上田 純